



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 放射線科 向井 紀代子

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 向井 紀代子

乳癌術前 MRI を受けた方を対象とした片側性腋窩リンパ節腫大に関する研究

1.研究の対象

2021年6月～2021年10月に当院で乳癌術前 MRI を受けた方で、かつ COVID-19 ワクチン接種を受けられた方、またはその後の手術で転移性リンパ節腫大と診断された方。

2.研究の目的・方法

現在 COVID-19 ワクチン接種によってワクチンを摂取した方の脇にあるリンパ節が腫脹することが知られています。乳癌のある患者は手術前に MRI を受け、画像で脇のリンパ節に転移があるかどうかを確認することが可能です。しかし、最近ではリンパが腫れている際、これがワクチン後に起こった反応性の腫大なのか、リンパ節転移によるものなのか苦慮することがあります。今回ワクチン接種後のリンパ節と、リンパ節転移と証明された患者の術前 MRI でのリンパ節の局在について調査することで、局在パターンからワクチン接種後のリンパ節腫大あるいはリンパ節転移によるリンパ節腫大なのかを明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容や術前 MRI 画像についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年12月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》カルテ番号、年齢、性別、生年月日、既往歴、手術施行日、Breast MRI 施行日、ワクチン接種時期、摂取部位、術後腋窩リンパ節の病理結果等。

《画像検査》短径5mm以上のリンパ節腫大の局在と長径や短径、視認できるリンパ節の個数